

教育・研究業績書

| | | |
|---|------------|--|
| 領域名 精神看護学 | | |
| <教員の紹介> 准教授 日下 修一 講師 岩本 世津子 講師 山根 美智子 | | |
| I 教育活動 | | |
| 教育実践上の主な業績 | 年月 | 概要 |
| ① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む） | | |
| 1. 学生の授業参加意識の向上の取り組み | 2008年4月～現在 | 精神看護の授業においてより具体性を持たせた事例を紹介するなど、学生の興味を喚起するような内容を提供している。また、CVPPPなどの最新の精神看護技術についても実技も含めて指導している。 |
| 2. 学生による授業評価の活用 | 2008年4月～現在 | 授業終了後に行われる授業評価アンケート等の結果に基づいて授業の理解度と授業方法が適切であるか否かを確認し、次学期以降の授業内容・方法の改善に役立てるようにしている。 |
| ② 作成した教科書、教材、参考書 | | |
| 「精神臨床看護学実習 実習要項平成21年度版」の作成 | 2009年6月 | 精神臨床看護学実習に関する実習要項を補助教材として作成した。精神看護実習におけるよきハンドブックとして活用されることが期待される。 |
| ③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項 | | |
| | | |

教育・研究業績書

| 領域名 | 職名 | 氏名 | |
|--|-----|--|--|
| 精神看護学 | 准教授 | 日下 修一 | |
| Ⅱ 学会等および社会における主な活動 | | | |
| 1999年 4月～現在 | | 日本看護歴史学会員 | |
| 2001年 4月～現在 | | 日本家族看護学会員 | |
| 2001年 4月～現在 | | 日本アルコール関連問題研究会員 | |
| 2001年 4月～現在 | | 英国 Society for the Study of Addiction 会員 | |
| 2002年 4月～現在 | | 日本アディクション看護学会員 | |
| 2002年 4月～2008年12月 | | 日本アディクション看護学会理事・事務局 | |
| 2004年 4月～現在 | | 日本アディクション看護学会査読委員 | |
| 2004年 4月～現在 | | 刑事政策研究会員 | |
| 2005年 8月～2008年8月 | | 日本看護歴史学会理事 | |
| 2005年 8月～2008年10月 | | 日本看護歴史学会査読委員 (7期) | |
| 2006年 4月～現在 | | 日本精神保健看護学会員 | |
| 2006年 6月～2009年5月 | | 栃木県看護部長会第2副会長 | |
| 2006年 9月～現在 | | 司法看護研究会代表 | |
| 2007年 1月～現在 | | International Association of Forensic Nursing 会員 | |
| 2007年 3月～現在 | | 北関東精神保健看護研究会員 | |
| 2007年 3月～現在 | | 北関東精神保健看護研究会監事 | |
| 2007年 5月～現在 | | 日本看護科学学会員 | |
| 2007年 8月～現在 | | 日本医療マネジメント学会員 | |
| 2008年 8月～現在 | | 日本看護歴史学会理事会協力員 | |
| 2008年 10月～現在 | | 日本看護歴史学会査読委員 (8期) | |
| 2008年 12月～現在 | | 日本アディクション看護学会理事・学会誌編集委員長 | |
| Ⅲ 研究活動 | | | |
| 【学位論文】 | | | |
| 【著 書】 | | | |
| 【原 著】 | | | |
| 和文 | | | |
| 1. 日下修一：アディクション看護の専門性と法的根拠. アディクション看護 2：44-45, 2005. | | | |
| 2. 日下修一：明治期の精神看護学書にみるアルコール看護. アディクション看護 5：2-8, 2008. | | | |
| 【症例報告】 | | | |

【総 説】

和文

1. 目下修一：オーストラリアのアディクション看護とガイドライン・刑事看護. アディクション看護 2 : 94, 2005.
2. 目下修一：オーストラリアの司法看護. アディクション看護, 2 : 119, 2005.

【そ の 他】

和文

1. 目下修一：看護師学校養成所 2 年課程 (通信制) 開設に向けての諸問題～通信制開設に取り組んだ立場から. 看護展望 29 : 240-211, 2004.
2. 目下修一：「高等学校衛生看護科」の変革複数のコースを用意している衛生看護科:学校法人温知会仁愛高等学校. Quality Nursing 10 : 103-109, 2004.
3. 目下修一, 安田美弥子：アメリカ・アディクション看護視察報告その 1. 精神看護 8 : 74-79, 2005.
4. 目下修一：オーストラリアの司法看護の特徴. 精神看護 8 : 88-90, 2005.
5. 目下修一：アディクション問題と司法. 精神科看護 33 : 64-68, 2006.
6. 目下修一：精神「科」看護を教えるとは、どういうことかー教員が知るべき方向性. 看護教育 49, 578-583, 2008.

教育・研究業績書

| 領域名 | 職名 | 氏名 | |
|---------------------------|------------------------|--------|--|
| 精神看護学 | 講師 | 岩本 世津子 | |
| Ⅱ 学会等および社会における主な活動 | | | |
| 1975年4月～現在 | 日本看護協会員 | | |
| 1998年9月～現在 | 日本医療情報学会員 | | |
| 2001年4月～現在 | 日本適応看護理論研究会員 | | |
| 2006年4月～2009年3月 | 日本精神衛生会会員（2009年3月退会） | | |
| 2007年5月～現在 | 日本感情心理学会員 | | |
| 2008年1月～現在 | 日本トラウマティック・ストレス学会(学生)員 | | |
| 2008年7月～現在 | 日本認知心理学会(学生)員 | | |
| 2009年6月～現在 | PNEI(精神神経内分泌免疫)研究会員 | | |
| Ⅲ 研究活動 | | | |
| 【学位論文】 | | | |
| | | | |
| 【著 書】 | | | |
| | | | |
| 【原 著】 | | | |
| | | | |
| 【症例報告】 | | | |
| | | | |
| 【総 説】 | | | |
| | | | |
| 【その他】 | | | |
| | | | |

教育・研究業績書

| 領域名 | 職名 | 氏名 | |
|---|-------------|--------|--|
| 精神看護学 | 講師 | 山根 美智子 | |
| Ⅱ 学会等および社会における主な活動 | | | |
| 2005年 6月～現在 | 日本看護研究学会員 | | |
| 2005年 6月～現在 | 日本看護科学学会員 | | |
| 2005年 12月～現在 | 日本精神保健看護学会員 | | |
| 2006年 5月～現在 | 日本看護管理学会員 | | |
| Ⅲ 研究活動 | | | |
| 【学位論文】 | | | |
| 【著 書】 | | | |
| 和文 | | | |
| 1. 石川幸代, 岩井一正, 大谷恵, 川野雅資, 葛岡千郁子, 國生拓子, 鈴木啓子, 関井愛紀子, 田島治, 中島香澄, 中村仁志, 長谷川麻紀子, 八田勘司, 福山なおみ, 藤井博英, 堀川直史, 松本貴彦, 湊武, 森千鶴, <u>山根美智子</u> : 強迫行為のある患者の看護, 躁状態の患者の看護. 川野雅資編, 精神看護学Ⅱ精神臨床看護学第4版 ニューヴェルヒロカワ, pp307-314, 2006. | | | |
| 2. 石川幸代, 宇都宮智, 川野雅資, 小平智加, 後藤美穂, 下里誠二, 高間さとみ, 萩典子, 福山なおみ, 松本賢哉, 松本貴彦, 森千鶴, 山田洋, <u>山根美智子</u> : 状態像と看護, 治療と看護. 川野雅資監修・編集, 看護学実践精神看護学 日本放射線技師会出版会, pp129-140, pp172-180, pp212-231, 2007. | | | |
| 3. 山本勝則, 藤井博英, 角濱春美, 吉田一子, 清水健史, 酒井郁恵, 坂江千寿子, 樋口日出子, 松田光信, 河野あゆみ, 大森眞澄, 玉田明子, 岩井眞弓, 福原智子, <u>山根美智子</u> : 社会資源活用のための援助(第七章). 山本勝則, 藤井博英編集, 根拠がわかる精神看護技術第1版 メヂカルフレンド社, pp387-398, 2008. | | | |
| 【原 著】 | | | |
| 和文 | | | |
| 1. 小林千賀子, <u>山根美智子</u> , 板橋イク子: ストーマケアを依存している患者の看護—ロイ適応看護モデルを用いて相互依存を中心に—. 日本適応看護理論研究会学術論文集 3: 77-97, 2004. | | | |
| 2. <u>山根美智子</u> , 小林千賀子, 赤羽由美: 躁うつ病患者の自己概念の再構成と相互依存・役割機能との関係—当事者の語りの分析から看護援助を考える—. 日本適応看護理論研究会学術論文集 4: 39-57, 2005. | | | |
| 3. <u>山根美智子</u> : 統合失調症患者への看護師の「聞く・説明する」程度についての検討—施設の種類および精神科経験年数との関連—. 日本精神保健看護学会誌 15: 41-48, 2006. | | | |
| 4. 飯島満枝, 岡文代, <u>山根美智子</u> , 熊倉みつ子, 小林千賀子, 板橋イク子: 糖尿病性腎症で透析を受けている独居患者の看護—生活行動制限が受け入れられない患者の適応について—. 日本適応看護理論研究会学術論文集 5: 17-30, 2006. | | | |

5. 山根美智子：ある看護師の片頭痛と自己概念にみる適応の視座. 日本適応看護理論研究会学術論文集 6：149-175, 2007.
6. 山根美智子, 山本勝則：精神科看護継続教育に関する研究の動向. 獨協医科大学看護学部紀要 1：1 - 12, 2007.
7. 山根美智子, 渡邊かよ子：外来看護師が乳がん患者の看護実践で感じていることの検討. 栃木県看護学会誌 12:87-90, 2007.
8. 山根美智子, 山本勝則：研究目的からみた精神科看護継続教育に関する看護師の関心. 第 39 回日本看護学会－精神看護－：161 - 163, 2008.
9. 赤羽由美, 山根美智子：青年後期女性の乳房自己検診行動と母親からの影響との関連. 第 39 回日本看護学会－地域看護－：179-181, 2008.

【症例報告】

【総 説】

【そ の 他】